



10月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和3年10月1日

秋晴れの空が綺麗に広がり、高く澄み渡る季節となりました。

さて、2日は待ちに待った運動会です。テーマは『輝け 笑顔の キラリンピック』～みんなの心に金メダル～です。今年度も、新型コロナウイルス感染予防のため学年ごと、観覧者人数制限や感染症対策にご協力をいただきながらの開催となります。

ばら組さんは初めての運動会ですが、元気に走ったり、ミッキーマウスやミニーマウスの衣装を身に付け、可愛く踊ったりしてくれることでしょう。すみれ組さんは、ばら組での経験を生かして競争心を持ってかけっこをしたり、色とりどりのポンポンで少し高度な隊形移動をしながら生き生きとダンスを踊り、張り切って発表してくれることでしょう。さくら組さんは、かけっこやリレー、鼓隊やパラバルーン、組立体操とひと通りの種目を発表します。特に、組立体操は目玉であるピラミッドや一本橋に加え、昨年度好評でした跳び箱を披露します。今年のさくら組さんは、すみれ組の頃からさくら組に憧れ、様々な競技に興味・関心を示していました。「バトンを使ってリレーをしたい!」「パラバルーンを膨らませたい!」「とび箱が跳べるようになりたい!」と言っていました。先生方も子どもたちの声を大切に、必要な道具を用意して楽しく体験できるようにしていました。

子どもたちは、平日頃から「仲間のために頑張ろう!」をモットーに取り組んできました。リレーでは、自分たちで走るチームや名前、順番を決めたり、どうしたら1番になれるか作戦を考えたりしながら、「自分のためだけでなく、お友だちのために頑張ろう!」という気持ちが育ってきました。組立体操もお友だちと力を合わせて頑張る力が大切です。繋いだ手と手を放してしまうと倒れたり、支えていた手の力を抜いてしまうと落ちてしまったりします。お友だちのことを考えて行動したり、自分の役割に責任を持って取り組むことが必要になってきます。このように、運動会の行事ひとつで貴重な成長につながっていくことがよく分かりますね。

また、学校へ行ってから、授業で長時間椅子に座ってられるようになるには、幼少期からの体力作りが大切だそうです。幼少期から体を動かしたり、長時間歩いたりすることは、足腰が鍛えられ、筋肉も付いて、忍耐強くなります。もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組さんも、平日に先生と子どもたちで、かけっこや玉入れ、お菓子取り競争やダンスなどをして体を動かし、頑張ったご褒美に、先生手作りのメダルで表彰したり、運動会の気分を味わっていく予定です。その様子はフェイスブックなどで配信していきたいと思いますのでどうぞお楽しみにしててください。